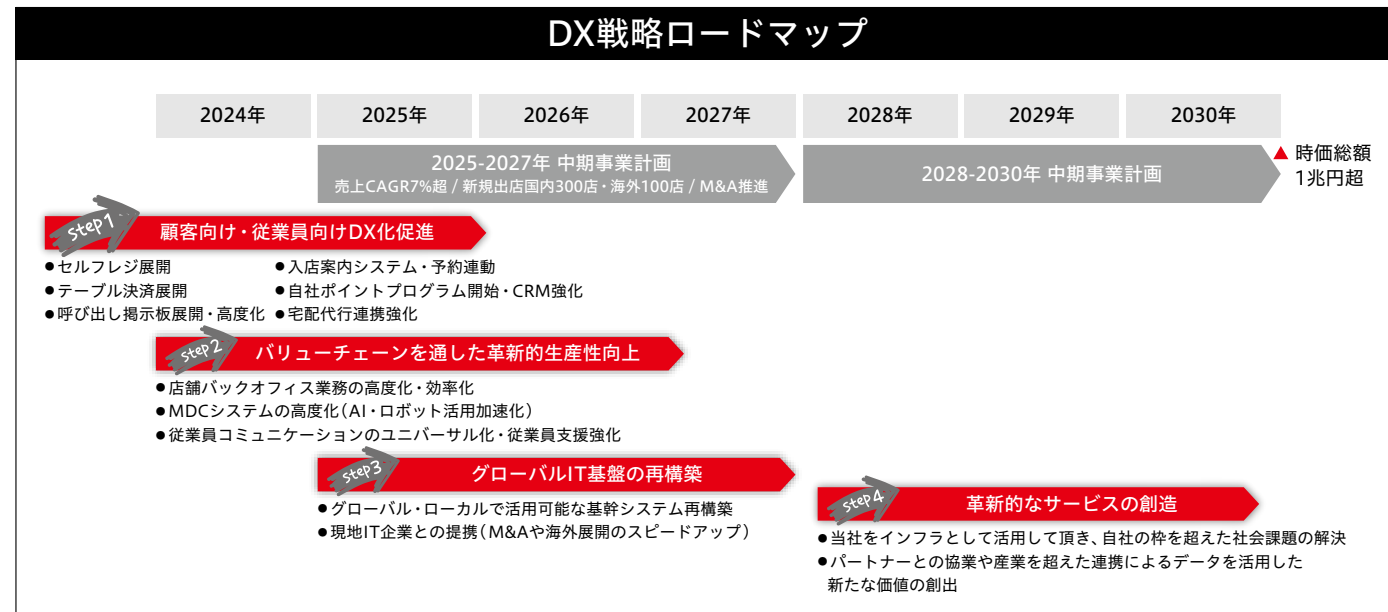


基軸 DXの推進

多様な従業員の能力を最大限高めるDX



徹底した現場主義とDX推進による生産性向上

当社のDX推進における考え方は、「困りごと解決」という現場目線の明確な目的設定が従業員の主体的な意識改革を促し、その成功事例を共有するポジティブな循環を生み出しています。企業側の都合で上から目線で生産性を押し付けるのではなく、従業員が共感し、参画したいと思える仕組みづくりが

重要であると考えています。

当社のDXは、現場目線で「困りごと」を徹底的に洗い出し、DXや制度、仕組みの改善を実行し、データ分析に基づく効果測定を再度現場で改善検証するサイクルを行っています。

例 なぜロボット3,000台を1年半で効果的に導入できたのか？

データ分析と徹底した現地現物に基づく改善を繰り返し、店舗運営力を飛躍的に向上

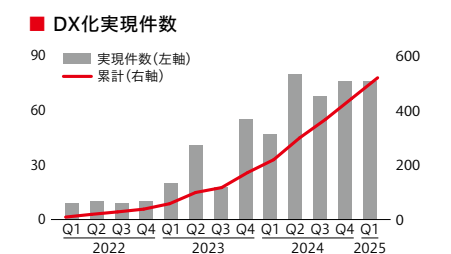


全社におけるDX人材の育成と資格補助

2022年に、各部門にDX専任担当を任命。あまり改善が進まない中、2023年に「お困りごと改善プロジェクト」と名前を変え目的を明確にしたところ、DX化実現件数が右肩上がりに増加。累計500件を超えるDX化を実現し、生産性向上に大きく貢献しています。

社内で生成AI勉強会も実施し、活用ランキングを見る化。IT部門のみならず、全部門の担当者が生成AIを業務に活かし、生産性向上を図っています。

IT関連の資格取得の補助も行っており、能力向上のモチベーションにつながっています。



社内任意参加のもくもく勉強会 2024年約150人参加

仕掛け人 藤本 祥恵

マーケティング本部 メニューシステムデザインチーム リーダー

DXの勉強会を社内外で多数開催するなど、DX人材の次世代育成リーダーとして活躍。2024年、新たにDX資格の取得をサポートする社内人事制度を構築するなど尽力。多数のメディアでも注目されている。

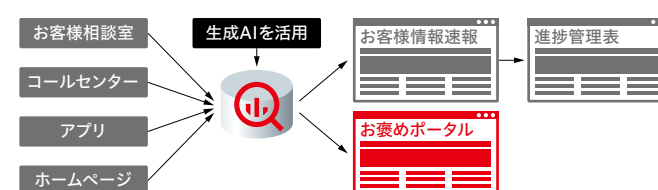
もくもく勉強会：月2～3回活動
2024年IT資格取得者：23名
主な資格：ITパスポート、基本情報処理技術者、応用情報技術者、Tableau Desktop Specialist、Cloud Digital Leader (Google)、Professional Cloud Network Engineer (Google)、Professional Google Workspace Administrator (Google)、Professional Cloud Engineer (Google)、Professional Machine Learning Engineer (Google)、Professional Cloud Architect (Google)、Professional Cloud Database Engineer (Google)

生成AI活用事例

すかいらーくグループは、業務効率化、生産性向上、付加価値の創造を目的に、生成AIを積極活用しています。

●お客様の声の可視化

お客様から寄せられる貴重なご意見を生成AIを活用して迅速に把握・共有し、改善につなげる仕組みを構築しています。



●AIでキッチンの業務効率化実験をスタート

AIでキッチンの調理マニュアルを検索・要約。新人も外国人クルーもレシピを即座に確認でき、業務効率が向上しています。

